

早稲田大学 社会科学部  
2018年度 入試問題の訂正内容

<社会科学部 一般入試>

【世界史】

●問題冊子5ページ：設問 Ⅱ 問8-④

(誤)

④ ヘースティングの…

(正)

④ ヘースティングズの…

●問題冊子7ページ：設問 Ⅲ 問9 選択肢a.

(誤)

a. ファシズムは一党独裁体制の下で…

(正)

a. ファシスト体制は一党独裁体制の下で…

以上

2018年度  
世 界 史  
(問 題)

〈H30120018〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、解答用紙の氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示にしたがって選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

古くから中国北方の草原地帯や西方のオアシス地帯では、多くの遊牧民族が出現して強力な国家を形成し、中国歴代王朝と対峙してきた。3世紀後半に後漢が滅亡すると、華北では漢人政権の内紛に乗じて勢力を伸ばした北方の諸民族が次々に政権を樹立し、江南でも漢人の政権が頻繁に交代し、中国は分裂の時代を迎えた。だが、この魏晋南北朝の時代は、仏教や道教の発展、江南における六朝文化の繁栄など、多様な新しい思想や文化が生まれ、また江南の開発による産業化の進展、門閥貴族の台頭などの変化も生じた。

中国を再び統一した隋は華北と江南を結ぶ大運河を建設し、実質的にも南北を一体化した。隋を受け継いだ唐は、律令制、均田制、租調庸制、府兵制、地方行政制度を整備して中央集権体制を確立し、科挙によって門閥貴族の政治への介入を抑制した。唐は、東方では新羅と渤海を冊封体制に組み入れ、西方ではオアシス都市を拠点に西域経営に取り組み、南方にも進出するなど、勢力圏を拡大した。首都長安は東西から人々が集まる国際都市となり、仏教や道教のほか、新たな外来宗教の寺院も建てられた。また六朝文化を継承して貴族文化が栄え、唐詩、散文、書道、絵画などの分野で優れた作者・作品を輩出した。

だが、8世紀から9世紀にかけて、律令制国家を支える均田制がゆるみ租調庸制や府兵制の維持が困難になり、やがて庶民の生活困窮を背景とする黄巢の乱がおきるなど、唐の変質と衰退が進み、907年唐は滅亡した。

問1 下線部(A)について、遊牧民族の1つである突厥に関連する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- ペルシア文字に由来する突厥文字は北方遊牧民族最古の文字といわれている。
- 突厥は6世紀半ばに柔然を滅ぼしたのち、6世紀後半に東突厥と西突厥に分裂した。
- 東突厥は一時期唐に服属したのち国家を再興したが、8世紀半ばにキルギスに滅ぼされた。
- 突厥は6世紀半ばに、グプタ朝と結んでエフタルを滅ぼし西方に勢力を拡大した。

問2 下線部(B)について、魏晋南北朝時代の諸国に関連する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 魏の將軍だった司馬睿は晋(西晋)をたてたのち、280年呉を滅ぼして中国を統一した。
- 晋(西晋)は匈奴に首都長安を攻撃され、皇帝も捕らえられて316年に滅亡した。
- 鮮卑の拓跋氏がたてた北魏が東西に分裂した後、東魏は北周に、西魏は北斉に倒された。
- 東晋の武將劉裕は、東晋の皇帝から禪譲を受けて南朝最初の王朝宋を建国した。

問3 下線部(C)について、魏晋南北朝時代の仏教と道教に関連する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 西域から渡来した鳩摩羅什は後秦時代の長安で多数の仏教經典を漢訳し、中国での大乘仏教の普及に努めた。
- 東晋の僧法顕は、仏教の戒律の經典を求めて西域経由でインドに渡り、412年に陸路で帰国したのち、インド訪問旅行記『仏国記(法顕伝)』を著した。
- 寇謙之が仏教の学説を取り入れ宗教として体系化した道教(新天師道)は、孝文帝時代の北魏で国教とされた。
- 北魏の時代に洛陽南郊の雲崗や平城西郊の竜門で仏教石窟寺院の建設が始まり、ガンダーラ美術などの影響を受けた巨大な石仏彫刻がつけられた。

問4 下線部(D)について、唐の諸制度に関連する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 唐の均田制では、口分田は丁男とその妻に支給されたが、隋とは異なり耕牛と奴婢には支給されなかった。
- 唐の官制では、中央政府機関として、詔勅を作成する尚書省、審議する門下省、執行する中書省が設けられた。
- 唐の地方行政区画制度では、当初隋の州県制が継承されたが、のちに道が置かれ州・県を統轄するようになった。
- 唐の府兵制では、兵役期間中の農民には租調庸が免除され、兵器や食糧が支給された。

問5 下線部 (E) について、科挙に関連する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 隋の時代に、漢代以来の九品中正 (九品官人法) に代えて採用された学科試験による官吏登用制度が科挙の始まりである。
- b. 則天武后は、科挙を重視して家柄にかかわらず才能あるものを積極的に採用した。
- c. 唐の太宗のとき、州試、県試のほかに殿試が導入され、皇帝が直接最終審査を行うようになった。
- d. 唐の高祖の命により孔穎達らが編纂した『五経正義』が科挙試験での儒学解釈の基準とされた。

問6 下線部 (F) について、新羅と渤海に関連する記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. 辰韓の地に成立した新羅は百濟、高句麗を滅ぼし、朝鮮半島の大半を統一したが、935年高麗に降伏し滅んだ。
- b. 渤海は、中国東北部東部から朝鮮半島北部を領有した国で、唐の文化を取り入れて栄えたが、926年に契丹に滅ぼされた。
- c. 新羅では仏教が積極的に受け入れられ、首都漢城郊外には仏国寺や石窟庵などの多くの寺院が建設された。
- d. 渤海の都上京竜泉府は、日本の平城京と同じく唐の都長安の都城制を模倣して造営された。

問7 下線部 (G) について、タリム盆地北辺に位置するシルクロードの要衝の1つで、7世紀半ばに唐が安西都護府を置いたオアシス都市はどこか。

- a. 疏勒 (カシュガル)
- b. 于闐 (ホータン)
- c. 莎車 (ヤルカンド)
- d. 龜茲 (クチャ)

問8 下線部 (H) について、西方から伝来した宗教に関連する記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. ペルシア人阿羅本によって伝えられたキリスト教ネストリウス派は、中国では景教と呼ばれ、唐代末から宋代初めにかけて流行し、記念碑も建てられた。
- b. イスラーム教は唐では清真教と呼ばれたが、後にウイグルを表す回紇が西域のイスラーム教徒を意味するようになる回教 (回教) とも呼ばれるようになった。
- c. 北魏の時代にイラン系商人によって伝えられたゾロアスター教は、中国では祆教と呼ばれ、唐代には各地に寺院が建てられた。
- d. ササン朝ペルシアで生まれたマニ教 (摩尼教) は7世紀末に中国に伝わり、長安などに寺院が建てられたが、9世紀半ば以降には衰退した。

問9 下線部 (I) について、各分野の人物に関連する記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. 柳宗元は四六駢儷体で華麗な散文を書き、後に唐宋八大家の1人とされた。
- b. 詩人の王維は絵画にも秀でており、後に「南画 (南宗画)」の祖と呼ばれた。
- c. 白居易 (白樂天) は長編叙事詩『長恨歌』で玄宗と楊貴妃の悲恋をうたった。
- d. 書家の顔真卿は王羲之流の華麗な書風に対して力強い書風をおこした。

問10 下線部 (J) について、出来事がおきた年が正しく記述されているものはどれか。

- a. 737年に府兵制が正式に廃止された。
- b. 763年に安史の乱が勃発した。
- c. 780年に兩税法が施行された。
- d. 875年に黄巢の乱が鎮圧された。

## II

次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

17世紀に入ると、西ヨーロッパでは、イギリスやフランスなどの有力な国が各々国内問題に対処しつつ、ヨーロッパ内外で国富増大を狙って争った。<sup>(A)</sup>

イギリスでは、テューダー朝の断絶後、スコットランド王ジェームズ1世がステュアート朝を開いたが、専制政治に走り、後を継いだチャールズ1世も父以上に専制を強化したため、議会との対立が深まって、「ピューリタン革命」に繋がり、1649年共和政が宣言された。<sup>(B)</sup>議会の独立派を率いたクロムウェルは、議会内の長老派や水平派（急進派）を退ける一方、王党派の拠点だとしてアイルランドやスコットランドを征服するとともに、<sup>(C)</sup>重商主義的な政策を推進した。しかし護国卿に就任後軍事独裁体制を敷いたため国民の不満が高まり、彼の死後の1660年に、チャールズ1世の子チャールズ2世が国王に迎えられ、王政に復古した。しかし次第に絶対王政の復活をはかろうとするようになったチャールズ2世に対し、<sup>(D)</sup>議会は抵抗を強めた。後を継いだジェームズ2世の政治も専制的だったため、議会は国王を追放し、王女メアリとその夫でオランダ総督だったウィレム3世を共同統治の王、<sup>(E)</sup>メアリ2世およびウィリアム3世として迎え、<sup>(F)</sup>議会在主権を握る立憲王政が確立、絶対王政が消滅した。この変化は「名誉革命」とも呼ばれる。

その後18世紀以降のイギリスでは、ステュアート朝からハノーヴァー朝へ移行し、議会主導による<sup>(G)</sup>責任内閣制が進展し、財政基盤が強化される中、北米やインドにおける植民地支配が進められ、いち早く<sup>(H)</sup>農業革命および産業革命が達成されていった。またスコットランドに加え、<sup>(I)</sup>アイルランドも正式に併合して、1801年「グレート＝ブリテンおよびアイルランド連合王国」が成立した。<sup>(J)</sup>

問1 下線部（A）について、17世紀後半のフランスに関する記述のうち、適切なものを2つ選べ。

- 宰相マザランによりフランス学士院が創設された。
- 財務総監コルベールにより東インド会社が再建された。
- ラシーヌの悲劇、モリエールの喜劇などフランス古典主義演劇の傑作が生まれた。
- アンリ2世が発布したナントの王令はルイ14世により廃止された。

問2 下線部（B）について、チャールズ1世治世下での出来事として適切なものを2つ選べ。

- 1628年に議会在可決した「権利の請願」を認めたが、翌年国王は議会在解散した。
- 弾圧に耐えかねたピューリタンの一団は、北米にヴァージニア植民地を建設した。
- 国教の強制に反発し、カトリックの強いスコットランドは1639年に反乱を起こした。
- 1640年4月に召集された議会在は、国王が提出した増税案を拒否した結果、3週間で解散した。

問3 下線部（C）について、17世紀の重商主義的な政策に関する記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- 1651年に制定された航海法により、イギリスとその植民地への輸入品はイギリスの船で輸送することが定められた。
- イギリスの産業を保護するため、北米での毛織物工業や鉄工業を禁止した。
- オランダの自由貿易に敵対的な政策をとったため、イギリス＝オランダ戦争が起こった。
- 外国領植民地産の糖蜜・砂糖のイギリス領内への輸入を禁止して、自国領内の同産業を保護した。

問4 下線部(D)について、チャールズ2世の時期の議会に関する記述のうち適切なものを2つ選べ。

- a. チャールズ2世のカトリック擁護に対抗して、議会は官吏を国教徒に限定する審査法を制定した。
- b. ジェントリを中心とするが、商工業者や非国教徒の立場も配慮するトーリ党が生まれた。
- c. 議会は救貧法を制定し、貧民の救済と浮浪者の取締りを規定した。
- d. 議会は国民の恣意的な逮捕・拘禁を防止するため、人身保護法を制定した。

問5 下線部(E)について、17世紀を代表するオランダの画家を2人選べ。

- a. ホルバイン    b. レンブラント    c. ベラスケス    d. フェルメール

問6 下線部(F)について、2人の治世下における出来事として適切でないものを1つ選べ。

- a. 国民の生命・財産の保護などを定めた「権利の章典」が制定された。
- b. 寛容法の制定により、すべての国民に信教の自由が認められた。
- c. イングランド銀行が創設され、国債制度も整備され、政府の財政基盤が強化された。
- d. スペイン継承戦争が起こると、イギリスはオーストリア側についてフランス・スペイン連合軍と戦った。

問7 下線部(G)について、議会多数派の支持を失って首相を辞したことから責任内閣制の形成に貢献したとされる人物は誰か。

- a. ピット(大)    b. グラッドストン    c. ウォルポール    d. ディズレーリ

問8 下線部(H)について、インドにおけるイギリスとフランスの競合を巡る出来事を起きた順に正しく並べたものを選べ。

- ① クライヴの初代ベンガル知事就任
  - ② プラッシーの戦い
  - ③ 第1次カーナティック戦争の勃発
  - ④ ヘースティングスの初代ベンガル総督就任
  - ⑤ バリ条約の締結
- a. ①—③—②—④—⑤
  - b. ③—②—⑤—①—④
  - c. ①—③—④—②—⑤
  - d. ②—③—①—④—⑤
  - e. ③—②—①—⑤—④
  - f. ②—③—①—⑤—④

問9 下線部(I)について、農業革命に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 三輪作体制をとることで、休耕地をなくし、穀物栽培と家畜飼料の増産をはかるノーフォーク農法が開発された。
- b. 穀物栽培の効率が上がった西部に対して、東部や南部では、牧畜と製造業に集中する傾向が見られた。
- c. 議会の承認下で、第2次囲い込みが法的に行われ、農業経営は農業資本家による大農業経営に変化していった。
- d. 安価な穀物の輸入を禁止する穀物法が制定され、自国農業家の就労意欲が高まった。

問10 下線部（J）について、19世紀以降の 아일랜드 とイギリスの関係に関する記述のうち適切でないものを1つ選べ。

- a. 1848年に結成されたアイルランド国民党はアイルランドの自治権獲得をめざし、1914年のアイルランド自治法成立に寄与した。
- b. 1905年に結成されたシン＝フェイン党はアイルランドの完全独立をめざし、他の強硬派とともに1916年のイースター蜂起に関与した。
- c. 1922年に北部のアルスターを除き、イギリスの自治領となったアイルランド自由国は、1931年のウェストミンスター憲章によりイギリス連邦内の主権国家となった。
- d. アイルランド自由国は1937年に新憲法を公布して共和国となり、1949年にイギリス連邦から離脱した。

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

イタリアの首都ローマは、ラテン人の一派がティベル河畔に樹立した都市国家に起源を有する。前6世紀末に成立した共和政の下でローマは繁栄し、イタリア半島を治めたのち、前2世紀には地中海を制覇した。しかし、支配地の拡大によって共和政は動揺し、「内乱の1世紀」を経て、帝政に移行した。4世紀末に帝国が東西に分割されると、都市としてのローマの重要性は低下した。西ローマ帝国の滅亡後、ローマは東ゴート王国に支配され、さらに6世紀にはビザンツ帝国（東ローマ帝国）領となった。

ローマはキリスト教の五本山の1つであり、総大司教座が置かれていた。その長であるローマ司教は教皇と呼ばれた。8世紀に教皇領が成立したが、それは教皇を頂点とする国家の誕生を意味した。13世紀初頭にはカトリック教会の権勢が増し、ローマも教皇領の首都として栄えた。14世紀に入って教皇国家が世俗国家と対立すると、教皇権は動揺し、教皇庁も移転したため、ローマは荒廃していった。ローマが再び輝きを取り戻すのは15世紀で、ルネサンス文化の中心地となった。しかし、16世紀前半に起こったローマ劫掠により、その輝きは失われた。

18世紀末になるとイタリア半島の統一の気運が高まり、1861年にイタリア王国が成立した。ローマはなお教皇領であったが、1870年にイタリア王国に編入され、翌71年にイタリア王国の首都となった。第一次世界大戦までのイタリアは自由主義時代と呼ばれ、ローマも議会政治の中心地であった。しかし、第一次世界大戦後の1922年にローマはファシズム国家の首都となった。1930年代に入って国際状況が変化するなかで、イタリアも第二次世界大戦に参戦し、戦争末期にはローマも戦場となった。

問1 下線部（A）について、共和政に関する記述として最も適切なものを1つ選べ。

- a. 前5世紀前半に平民のみで構成される平民会が設けられ、護民官が招集・主宰した。
- b. 非常時に置かれた任期1年の独裁官（ディクタトル）は元老院が指名した。
- c. 前4世紀に制定されたホルテンシウス法によって、平民と貴族の政治上の権利が同等になった。
- d. コンスル（執政官・統領）2名はプレブスと呼ばれた貴族から選出された。

問2 下線部（B）について、帝政期の出来事を起きた順に並べたものはどれか。

- ① デイオクレティアヌス帝が四帝分治制（テトラルキア）をしいた。
  - ② キリスト教が国教とされた。
  - ③ ローマ市民権が帝国内の全自由民に付与された。
  - ④ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝が『自省録』を著した。
  - ⑤ コンスタンティヌス帝がソリドゥス金貨を創設した。
- a. ①—③—⑤—②—④    b. ①—④—②—③—⑤    c. ③—⑤—④—①—②  
d. ③—⑤—②—④—①    e. ④—⑤—③—②—①    f. ④—③—①—⑤—②

- 問3 下線部 (C) について、ビザンツ帝国 (東ローマ帝国) の公用語がラテン語からギリシア語にかわったときの皇帝は誰か。
- a. ユスティニアヌス1世    b. レオン3世    c. ヘラクレイオス1世    d. バシレイオス2世
- 問4 下線部 (D) について、キリスト教の公会議に関する記述として適切でないものを1つ選べ。
- a. 325年に小アジアのニケーアではじめて公会議が開かれた。  
b. 381年のコンスタンティノープル公会議ではじめて三位一体説が主張された。  
c. 431年のエフェソス公会議でマリアを「神の母」と呼ぶことを認めた。  
d. 451年のカルケドン公会議の決定に反対してシリアでヤコブ派が生まれた。
- 問5 下線部 (E) について、五本山に含まれないのはどれか。
- a. アレクサンドリア    b. アンティオキア    c. イエルサレム    d. ラヴェンナ
- 問6 下線部 (F) について、教会の絶対権は世俗世界にも及ぶと主張した11世紀の教皇は誰か。
- a. インノケンティウス3世    b. グレゴリウス7世  
c. カリクストゥス2世    d. ボニファティウス8世
- 問7 下線部 (G) について、ルネサンス期の芸術家に関する記述として最も適切なものを1つ選べ。
- a. ブラマンテはフィレンツェのサンタ=マリア大聖堂の円蓋を設計した。  
b. ジョットは彫刻におけるルネサンス様式を確立し、「ダヴィデ像」を制作した。  
c. ミケランジェロの代表作の1つがシステイナ礼拝堂の壁画「最後の晩餐」である。  
d. ラファエロはヴァチカン宮殿の署名の間に「アテネの学堂」を描いた。
- 問8 下線部 (H) について、イタリアの統一に関する記述として最も適切なものを1つ選べ。
- a. マッツイーニはカルボナリを組織してローマ共和国を建国したが、フランス軍に破れ、イギリスに亡命した。  
b. カヴールはサルデーニャ王国の憲法を停止して王権の強化を図ることによって、イタリア統一を導いた。  
c. サルデーニャ王国はナポレオン3世と結んだプロンピエールの密約により、ロンバルディアを獲得した。  
d. ガリバルディは義勇軍である千人隊 (赤シャツ隊) を組織して占領した両シチリア王国を、サルデーニャ王国に献上した。
- 問9 下線部 (I) について、イタリアのファシズムに関連する記述として適切でないものを1つ選べ。
- a. ファシズムは一党独裁体制の下で強権的な支配を行う一方で、レジャーやスポーツを通じて国民からの合意を獲得しようとした。  
b. ファシストによる「ローマ進軍」に対して国王は戒厳令を出さず、逆にムッソリーニに組閣を命じた。  
c. ファシスト体制の下でイタリアは対外進出を進め、1936年にはエチオピアを併合し、さらに39年にはティラナ条約によりアルバニアを保護国とした。  
d. 1943年7月にムッソリーニが逮捕された後に成立したバドリオ政府は、同年9月に無条件降伏を申し出た。
- 問10 下線部 (J) について、1930年代の国際状況に関する記述として最も適切なものを1つ選べ。
- a. スペインで起こった内戦に対して、ヘミングウェイらが参加した国際義勇軍が介入した。  
b. フランス北部から侵攻したドイツ軍がパリを占領すると、ベタン元帥は降伏を申し入れた。  
c. 冬戦争と言われたソ連=フィンランド戦争の休戦協定が成立した。  
d. イギリスでは宥和政策を進めたチェンバレンに代わって、チャーチルが首相となった。

IV 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

(A) トルデシリャス条約に基づき、ポルトガルとスペインは現在のラテンアメリカ地域に植民地を建設した。 スペイン領メキシコで鑄造された銀貨は、 ヨーロッパだけでなくアジアにまで到達した。 また、植民地のプランテーションで生産された砂糖やコーヒーは、 17世紀から18世紀のヨーロッパ社会に「生活革命」とよばれる変化をもたらした。

19世紀になると、アメリカ独立革命やフランス革命に刺激され、ラテンアメリカの植民地で独立の気運が高まり、1810年代から20年代にかけて複数の独立国家が誕生した。 しかし、独立後も多くの国で政情が不安定であった。 1848年 にアメリカ合衆国との戦争に敗北したメキシコでは、 政治的混乱が20世紀初頭まで続いた。

1870年代から、多くのラテンアメリカ諸国の政治情勢は安定し、経済発展期を迎えた。しかし、この経済発展は輸出入作物や原料の生産とその貿易を中心にしており、当初はイギリスに、その後はアメリカ合衆国に大きく依存することになった。1929年に世界恐慌がおきると、合衆国大統領フランクリン＝ローズヴェルトは、 ラテンアメリカ諸国を米州経済ブロックに糾合することを 目指し、善隣外交を展開した。

第二次世界大戦後、ラテンアメリカ諸国は、アメリカ合衆国による共産主義勢力封じ込め政策の中に 組み込まれた。 合衆国の経済的・政治的支配は民族主義者や労働者らの反発をよび、 キューバでは1959年に革命がおきて親米政権が倒され、 1961年に社会主義政権が誕生した。 1970年代のラテンアメリカ諸国では、 独裁的な軍事政権が外資導入をテコに 経済成長を達成しようとする開発独裁が行われた。

問1 下線部(A)について、トルデシリャス条約が締結された正しい年号を選べ。

- a. 1488年    b. 1492年    c. 1494年    d. 1498年

問2 下線部(B)について、スペイン植民地にアフリカから黒人奴隷を運ぶためにスペインが外国商人や外国政府と結んだ請負契約は何か。

- a. アシエンダ    b. レパルティミエント    c. アシエント    d. エンコミエンダ

問3 下線部(C)について、メキシコ銀の流通とその影響に関する記述のうち適切でないものを1つ選べ。

- a. ヨーロッパで銀価の下落が起こり、金利の低下により商業が盛んになる一方、南ドイツのフッガー家などの銀資本家は没落した。
- b. 貨幣による地代の納入が普及していた西ヨーロッパでは、貨幣価値が上昇したことにより領主層が成長して封建制が強化された。
- c. ヨーロッパでは、従来の北イタリア諸都市によるレヴァント貿易が衰退し、貿易の中心が地中海から大西洋に移動した。
- d. スペインのガレオン船は、メキシコ銀をアカプルコからフィリピンのマニラに運び、中国産の絹や陶磁器、インド産綿布などをマニラから持ち帰った。

問4 下線部(D)について、独立国家名とその独立に関わった人物名の組み合わせのうち適切なものを1つ選べ。

- a. ベルー —— トゥサン＝ルヴェルチュール
- b. メキシコ —— シモン＝ボリバル
- c. チリ —— サン＝マルティン
- d. ハイチ —— イダルゴ

問5 下線部 (E) について、1848年にヨーロッパの各地で起こった蜂起や革命に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. パリで労働者による革命がおこり、社会主義者を中心とする臨時政府が組織された。
- b. ウィーンで労働者や学生が蜂起して、皇帝に憲法制定と自由主義的改革を約束させた。
- c. ワルシャワで独立を訴える民族主義者らが蜂起し、ロシア軍によって鎮圧された。
- d. モスクワで専制打倒や農奴制解体を掲げて、貴族の青年士官たちが蜂起した。

問6 下線部 (F) について、19世紀後半から20世紀初頭までのメキシコに関する記述のうち適切なものを2つ選べ。

- a. 1855年自由党と保守党の対立からメキシコ内乱がおこると、フランスのナポレオン3世は、ファレスを支持して軍事介入した。
- b. 1877年に大統領に就任したディアスは鉱山開発などをすすめたが、その独裁的な政治が反発を招き、メキシコ革命により打倒された。
- c. アメリカ合衆国のセオドア＝ローズベルト政権は民主的な政権の樹立を要求して、1914年にメキシコへ海兵隊を派遣したが、メキシコ側の反発により撤退した。
- d. 1917年に制定された憲法は、土地改革や勤労者の権利、政教分離、大統領権限の強化をうたった。

問7 下線部 (G) について、第一次世界大戦後のアメリカ合衆国に関する記述のうち適切でないものを1つ選べ。

- a. 経済の繁栄を背景に、経済界の利益を重視する共和党政権のもとで、自由放任政策と高率保護関税政策がとられた。
- b. 保守的風潮の中、アナキストとされる2人のイタリア系移民が証拠不十分なままに死刑となるサッコ・ヴァンゼッティ事件がおきた。
- c. 第一次世界大戦後、イギリス・ドイツを抜いて世界最大の工業国となり、国際金融市場の中心の1つともなった。
- d. 女性参政権運動や第一次世界大戦中の戦時協力などにより、1920年に女性参政権が認められた。

問8 下線部 (H) について、フランクリン＝ローズヴェルト政権下のアメリカ合衆国で成立した法律ではないものを1つ選べ。

- a. ワグナー法      b. 全国産業復興法      c. スムート＝ホーリー関税法      d. 農業調整法

問9 下線部 (I) について、アメリカ合衆国による共産主義勢力封じ込めのための政策に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. リオデジャネイロで開催されたパン＝アメリカ会議で米州機構が結成された。
- b. アメリカで国家安全保障法が制定され、中央情報局や国家軍事機構が設立された。
- c. ドイツの西側占領地区で通貨改革を行う、トルーマン＝ドクトリンが発表された。
- d. アメリカの援助でヨーロッパ経済を復興する、シューマン＝プランが提案された。

問10 下線部 (J) について、1970年代のラテンアメリカで起きた出来事を1つ選べ。

- a. 米軍のグレナダ侵攻      b. アルベンス政権の成立
- c. フォークランド紛争の勃発      d. チリ軍部クーデタ

[以下余白]